

EVC-15 参加報告

総合文化研究科広域科学専攻関連基礎科学系
増田研究室 修士課程2年
梶本尚士

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」をいただき、2018年6月17日から22日に開催された15th European Vacuum Conferenceに参加してきました。本学会は真空技術とその応用技術に関する様々な研究を対象とした国際学会であり、著名な研究者らによる研究発表が行われました。今年は国連機関などが集中する国際都市であるスイスのジュネーブで開催されました。

私は、「Pentacene on Au(111) and Cu(111) studied by UPS, MAES, and first-principles calculation」という題目でポスター発表を行いました。遷移金属上に形成したペンタセン薄膜の電子状態を解明するという内容で、多くの参加者に関心を持って頂きました。海外の著名な研究者とディスカッションを行い、自分の知見を深めると共に、今後の研究へのヒントも得ることができました。他にも世界最先端の研究に関する発表が数多く行われ、様々な分野の研究者の方々と交流することができました。

この国際学会の参加を通して、自分の研究に対する知見がさらに深まり、貴重な経験となりました。今後のさらなる研究活動や国際発表に向けてより一層励んでいきたいと思えます。貴重な機会をいただいたことを改めて感謝申し上げます。



写真：ポスター発表の様子